



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 エブレン株式会社  
コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
TEL 042-646-7171

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,055	0.2	287	4.2	290	0.5	192	3.4
2023年3月期第2四半期	2,052	6.3	300	11.0	289	7.8	186	5.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 206百万円 (4.0%) 2023年3月期第2四半期 214百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	127.46	
2023年3月期第2四半期	123.30	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,570	4,362	78.3
2023年3月期	5,604	4,197	74.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,362百万円 2023年3月期 4,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		27.00	27.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 33円00銭 記念配当 5円00銭  
配当予想の修正については、本日(2023年11月13日)公表の「期末配当予想の修正(創立50周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,310	1.2	659	0.4	659	0.7	431	1.1	285.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,536,000 株	2023年3月期	1,536,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	27,026 株	2023年3月期	27,026 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,508,974 株	2023年3月期2Q	1,508,974 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、徐々に持ち直しの傾向がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化、原油価格の高止まり等に伴う燃料や原材料価格の高騰、インフレの継続や金融引き締めに伴う景気減速懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げられ、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続きました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安基調の継続、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、物価上昇により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおいてはゼロコロナ政策に伴う中国経済の低迷や、ウクライナ問題に伴う世界的な需要の低迷により、2021～2022年に過去最高額を更新する勢いで成長した半導体市場が、メモリ向けを中心に半導体製造装置への設備投資の凍結や延期が相次ぎ、主力である計測・制御分野の売上高が減少傾向でありました。なお、2023年9月12日にSEMI（国際半導体製造装置材料協会）より、2023年の半導体前工程投資額は前年度比15%減の840億ドルとなるものの、2024年は前年度比15%増と2022年並みまで回復する予測が発表され、今年初めの予測と比較して2023年の装置投資額の落ち込みは浅く、2024年に向けて緩やかな回復基調に入ることが見込まれます。

通信・放送分野、電子応用分野、交通関連分野は、電子部品の入荷状況が一部で改善してきた影響により、受注残の消化が進み、売上高が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,055百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益287百万円（前年同四半期比4.2%減）、経常利益290百万円（前年同四半期比0.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は192百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を専業として行っており、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

#### 通信・放送 [通信・放送・電力関連]

電子部品の入荷状況が改善したことにより、電力関連を中心に増加しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比25百万円（19.5%）増の155百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の6.3%から7.6%となりました。

#### 電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

電子部品の入荷状況が改善したことにより、前期の納入遅延分の消化が進みました。また、欧州を中心に医療機器への設備投資が増加しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比41百万円（21.6%）増の235百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の9.4%から11.5%となりました。

#### 計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

半導体デバイスの在庫調整に目途がついたことで、今後のAI用サーバへの投資再開を想定し、メモリ（2024年の投資額はDRAMが前期比40%増の150億ドル、NANDが同113%増の121億ドルの予測）向けを中心に減少幅が縮小しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比148百万円（10.4%）減の1,284百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の69.8%から62.5%となりました。

#### 交通関連 [鉄道・信号・ITS（高度道路交通システム、ETC等）関連]

電子部品の入荷状況が改善したことにより、顧客の納入制限が解除され、前期の納入延伸分の消化が進みました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比94百万円（43.3%）増の312百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の10.6%から15.2%となりました。

#### 防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比9百万円（12.5%）減の68百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の3.8%から3.3%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、5,570百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて31百万円減少し、4,293百万円となりました。減少要因としては、原材料及び貯蔵品67百万円、受取手形及び売掛金62百万円の減少であります。増加要因としては、電子記録債権61百万円、現金及び預金22百万円、商品及び製品20百万円の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて2百万円減少し、1,276百万円となりました。減少要因としては、建物及び構築物4百万円の減少であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて202百万円減少し、812百万円となりました。減少要因としては、支払手形及び買掛金206百万円、未払法人税等32百万円の減少であります。増加要因としては、未払消費税等24百万円の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2百万円増加し、395百万円となりました。増加要因としては、退職給付に係る負債3百万円の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて165百万円増加し、4,362百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円であります。減少要因としては、配当金40百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4%増加し、78.3%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4百万円減少し、1,804百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、61百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益290百万円、棚卸資産の減少47百万円、未払消費税等の増加24百万円、その他の負債の増加14百万円であります。支出の主な内訳は、仕入債務の減少208百万円、法人税等の支払額126百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、32百万円となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入39百万円であります。また、収入の主な内訳は、定期預金の払戻13百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、40百万円となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払い40百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2023年5月12日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました数値からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,922,264	1,944,851
受取手形及び売掛金	649,891	587,479
電子記録債権	270,388	331,635
商品及び製品	118,453	138,913
仕掛品	292,598	295,062
原材料及び貯蔵品	1,019,316	951,930
その他	53,031	44,107
流動資産合計	4,325,944	4,293,979
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	173,322	167,895
有形固定資産合計	884,561	879,134
無形固定資産	14,326	16,150
投資その他の資産	379,357	380,747
固定資産合計	1,278,244	1,276,032
資産合計	5,604,189	5,570,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,779	534,915
未払法人税等	134,867	102,128
賞与引当金	53,660	50,091
受注損失引当金	2,931	2,937
その他	80,886	121,965
流動負債合計	1,014,126	812,037
固定負債		
役員退職慰労引当金	214,119	214,046
退職給付に係る負債	172,947	176,519
その他	5,970	5,022
固定負債合計	393,036	395,588
負債合計	1,407,163	1,207,625
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	3,882,046	4,033,639
自己株式	△25,981	△25,981
株主資本合計	4,136,075	4,287,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,996	3,949
為替換算調整勘定	57,953	70,767
その他の包括利益累計額合計	60,949	74,717
純資産合計	4,197,025	4,362,385
負債純資産合計	5,604,189	5,570,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,052,022	2,055,564
売上原価	1,557,754	1,563,105
売上総利益	494,268	492,458
販売費及び一般管理費	193,843	204,747
営業利益	300,425	287,710
営業外収益		
受取利息	138	1,041
受取配当金	17	142
助成金収入	327	—
保険解約返戻金	1,044	3,849
その他	404	2,136
営業外収益合計	1,933	7,169
営業外費用		
支払利息	45	32
為替差損	13,077	4,275
その他	80	—
営業外費用合計	13,203	4,308
経常利益	289,155	290,572
特別損失		
固定資産除却損	—	116
特別損失合計	—	116
税金等調整前四半期純利益	289,155	290,456
法人税、住民税及び事業税	95,593	95,177
法人税等調整額	7,500	2,943
法人税等合計	103,093	98,120
四半期純利益	186,061	192,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,061	192,335

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	186,061	192,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	953
為替換算調整勘定	29,051	12,814
その他の包括利益合計	28,643	13,767
四半期包括利益	214,705	206,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,705	206,102

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	289,155	290,456
減価償却費	8,235	10,135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,100	△3,793
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△53	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,634	3,572
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,831	△72
有形固定資産除却損	—	116
為替差損益 (△は益)	12	15
受取利息及び受取配当金	△156	△1,183
支払利息	45	32
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,578	3,868
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△202,890	47,249
前払費用の増減額 (△は増加)	11,153	9,093
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△2,210	300
保険積立金の増減額 (△は増加)	6,256	△3,631
その他の資産の増減額 (△は増加)	524	△489
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,656	△208,058
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,438	24,339
その他の負債の増減額 (△は減少)	3,941	14,812
小計	80,749	186,768
利息及び配当金の受取額	156	1,079
利息の支払額	△45	△32
法人税等の支払額	△138,937	△126,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,077	61,161
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△39,084
定期預金の払戻による収入	—	13,610
有形固定資産の取得による支出	△455	△3,069
無形固定資産の取得による支出	—	△3,985
貸付金の回収による収入	72	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383	△32,456

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,019	—
配当金の支払額	△33,197	△40,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,216	△40,742
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,900	8,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,777	△4,036
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,139	1,808,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,548,361	1,804,926

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。